

「令和」改元後、最初の特集では、遺伝性大腸癌として日常診療で遭遇する機会が多いリンチ症候群と遺伝性消化管ポリポースを取り上げた。本誌2008年Vol. 23 No. 9の遺伝性大腸疾患の特集で、私は遺伝性大腸癌の遺伝カウンセリングについて執筆の機会をいただいた。その時以来の遺伝性大腸腫瘍の特集である。この12年間に既知の遺伝性腫瘍症候群の知見はより深化する一方で、日常の一般がん診療においても、遺伝性腫瘍についての認識は避けて通れない領域になってきた。ゲノム医療の急速な進歩は、遺伝医療の体制整備を待つことなく、それを遥かに凌ぐ勢いで臨床の場に情報をもたらそうとしている。ペムプロリズマブのコンパニオン診断としてマイクロサテライト不安定性検査が用いられるようになり、また、すでにがん遺伝子パネル検査が薬事承認されている。これらの検査は間接的に遺伝性腫瘍の遺伝学的検査を行っているともいえる。ゲノム情報を診療で活用しつつ遺伝性腫瘍の診療体制をオンゴーイングで整備していく必要がある。

このタイミングで本特集を組めたことは時宜を得ているように思われる。ご執筆いただいた先生方の原稿を拝見すると、いずれも最新の知見だけではなく、それぞれのご経験に基づいた遺伝性大腸腫瘍に対するフィロソフィーが随所に盛り込まれており、遺伝性腫瘍の診療においても、やはり1例ずつの真摯な取り組みと反省の積み重ねが大切であることを強く感じている。

今回、ゲストエディターとして遺伝性大腸腫瘍の特集を企画する機会をいただいた。これは、2018年1月に消化器内視鏡医を対象とした研究会で、「内視鏡医が知っておくべき遺伝性腫瘍」というテーマで講演したことがきっかけとなっている。本誌編集委員の名古屋大学大学院消化器内科学分野教授 藤城光弘先生はじめ関係者の皆様に深謝申し上げます。

(新井 正美)

臨牀 消化器内科® Vol. 34 No. 6

©2019年5月20日発行

定価(本体3,000円+税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2019. Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-12-8 電話 03-5226-2791